

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-108089

(43)公開日 平成9年(1997)4月28日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>

A 47 G 25/20  
25/30

識別記号

庁内整理番号

F I

A 47 G 25/20  
25/30

技術表示箇所

(21)出願番号

特願平7-293796

(22)出願日

平成7年(1995)10月18日

(71)出願人 593209057

篠辺 貞道

栃木県安蘇郡田沼町大字多田1083

(72)発明者 篠辺 貞道

栃木県安蘇郡田沼町多田1083

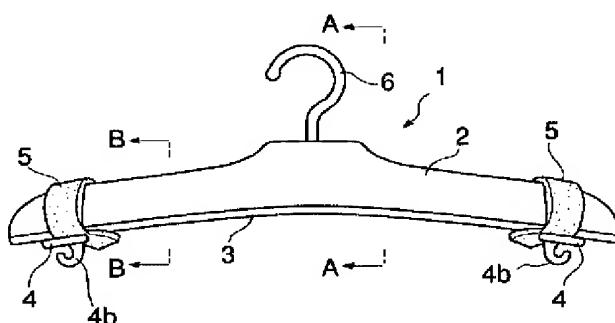
(74)代理人 弁理士 堀内 勇

(54)【発明の名称】 衣料品用ハンガー

(57)【要約】

【課題】 本発明の目的は、リサイクルの洗浄の作業を簡易にするとともに、ハンガーに吊り下げられる衣服等を長期的または頻繁に繰り返し使用してもハンガーの周縁端部により衣服等にしづが生じることがなく、適正な状態で吊り下げ保持することができ、かつ衣服等が滑り落ちにくい新規な構造を有する衣料品用ハンガーを提供することにある。

【解決手段】 上部基体と該上部基体の下部に取り付けられた下部基体とからなり曲線状の全体外形を有するハンガー基体と、前記下部基体の両端下部に取り付けられた係止部材と、前記ハンガー基体の外周に巻き付けられて前記係止部材に係止される滑り止め部材とからなるものである。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 上部基体と該上部基体の下部に取り付けられた下部基体とからなり曲線状の全体外形を有するハンガー基体と、前記下部基体の両端下部に取り付けられた係止部材と、前記ハンガー基体の外周に巻き付けられて前記係止部材に係止される滑り止め部材とからなることを特徴とする衣料品用ハンガー。

【請求項2】 請求項1記載の衣料品用ハンガーにおいて、上部基体は複数のボスを備えていると共に、下部基体は前記各ボスが貫通する複数の穴を備えており、前記ボスを前記穴に貫通させた後にカシメられる衣料品用ハンガー。

【請求項3】 請求項2記載の衣料品用ハンガーにおいて、係止部材には、取付穴が設けられていて、取付穴に前記ボスを貫通させた後にカシメることにより前記係止部材が取り付けられ、前記係止部材と前記下部基体間の隙間に前記滑り止め部材が挟み込まれ係止される衣料品用ハンガー。

【請求項4】 請求項3記載の衣料品用ハンガーにおいて、滑り止め部材は帯状をなすスponジ状のウレタンフォームである衣料品用ハンガー。

【請求項5】 請求項3記載の衣料品用ハンガーにおいて、係止部材はフック部を備えている衣料品用ハンガー。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、衣料品用ハンガーに関する。

## 【0002】

【従来の技術】 従来より、衣料品用ハンガーは多種類のものが市販されており、特に昨今では低価格化を図るためハンガー構造を単純化したものが多く使用されており、例えば、図5に示すような構造のものが知られている。すなわち、図5に示されるハンガー10は、横断面が略半円形状に形成され下部に周端縁17を形成した合成樹脂製のハンガー基体12と、このハンガー基体12の内側に所定間隔で配設された垂直な補強リブ14aと、これらのうちの両外側に配設された補強リブ14aに形成された水平方向の貫通係止孔16と、金属性の丸棒をコ字形に折曲すると共に、係止孔16に挿通係止すべくその両端部を外側に折曲形成してなる係止片15を備えた保持具18とから構成されている。このように形成されたハンガー10は、一般的に図6(a)、(b)及び(c)に示されるような状態で洋服20等を吊下げ使用される。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかし、上記の構造のハンガー基体12は、その横断面が略半円形状に形成されているため、吊り下げられた衣服20の背中部分がハンガー基体12の長手方向周縁端部に強く接触し、この

状態で長期的に吊り下げ保持するかまたは繰り返し使用していると、衣服20等が柔らかな生地製の場合にはこの接触部分にしわ13が生じるため使用できないという難点を有していた。また、シルク製等の滑りやすい素材でできている衣服20をハンガー10に掛けると、ハンガー10から滑り落ちてしまうことがあった。これを防止するため、ハンガー10の全体にウレタンフォーム等からなるスponジ状の滑り止め部材(図示しない)をかぶせたものがあったが、ウレタンフォームは多孔質のため内部に埃がたまり易く清掃が難しかった。さらに、環境問題に対応するために、ハンガーはリサイクルをして使用するようになっている。再使用するためにはハンガーの洗浄を要するが、図5のようなハンガーはハンガー基体12の内側に埃がたまり易く清掃が難しかった。また、全体にウレタンフォームがかぶせられたハンガーのリサイクル洗浄時には、ウレタンフォームを外して行なうのが普通であるが、これの取り外し再取り付けの手間がたいへんであり、コストが大きくかかる。

【0004】 本発明の目的は、リサイクルの洗浄の作業を容易にすると共に、ハンガーに吊り下げられる衣服等を長期的または頻繁に繰り返し使用してもハンガーの周縁端部により衣服等にしわが生じることがなく、適正な状態で吊り下げ保持することができ、かつ衣服等が滑り落ちにくい新規な構造を有する衣料品用ハンガーを提供することにある。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明による衣料品用ハンガーは、上部基体と該上部基体の下部に取り付けられた下部基体とからなり曲線状の全体外形を有するハンガー基体と、前記下部基体の両端下部に取り付けられた係止部材と、前記ハンガー基体の外周に巻き付けられて前記係止部材に係止される滑り止め部材とからなるものである。また、上部基体は複数のボスを備えていると共に、下部基体は前記各ボスが貫通する複数の穴を備えており、前記ボスを前記穴に貫通させた後にカシメられるものである。また、係止部材には、取付穴が設けられていて、取付穴に前記ボスを貫通させた後にカシメることにより前記係止部材が取り付けられ、前記係止部材と前記下部基体間の隙間に前記滑り止め部材が挟み込まれ係止されるものである。また、滑り止め部材は帯状をなすスponジ状のウレタンフォームである。また、係止部材はフック部を備えているものである。

## 【0006】

【作用】 衣料品用ハンガーを構成するハンガー基体は、上部基体のボスを下部基体の穴に貫通させてカシメることにより曲線状の全体外形を有している。下部基体の両端下部には係止部材が取り付けられ、この係止部材と下部基体間の隙間に、ハンガー基体の外周に巻き付けられたウレタン等の滑り止め部材が挟み込まれ係止される。50 ハンガー基体は曲線上の全体外形を有するので、衣服を

吊り下げて長期的または頻繁に繰り返し使用しても、衣服にしわが生じることなく適正な状態で吊り下げ保持することができ、しかも、ハンガー基体の両端の外周に滑り止め部材があるため、吊り下げられた衣服が滑る落ちる虞れがなくなる。

【0007】

【発明の実施の形態】次に、本発明による衣料品用ハンガーの一実施例を添付図面を参照しながら詳細に説明する。図1は本発明の衣料品用ハンガーの全体正面図、図2(A)及び(B)は図1のA-A線及びB-B線断面図、図3は図1の部分拡大分解斜視図、図4は組み立て途中の状態を表わす部分断面図である。

【0008】図1において、本発明の衣料品用ハンガーは、上部基体2と上部基体2の下部に取り付けられる下部基体3とからなり曲線状の全体外形を有する合成樹脂製のハンガー基体1と、下部基体3の両端下部に取り付けられる合成樹脂製の係止部材4と、ハンガー基体1の外周に巻き付けられて係止部材4に係止される、帯状をなすウレタンフォーム等からなるスポンジ状の滑り止め部材5と、フック6とから構成されている。上部基体2は、中空部2bのある曲線上の外形を有し、中空部2bの内部より突出する複数のボス2aを両端部及び中間部の適宜の位置に備えている。下部基体3は、上部基体2のボス2aに対応する位置に複数の穴3aが形成されていると共に、周縁端部3cに嵌合片3bが形成されている。係止部材4は、取付穴4aとフック部4bを備えている。

【0009】上記構造の衣料品用ハンガーの組み立て方を説明すると、まず、下部基体3の嵌合片3bが上部基体2の中空部2cに入り込むようにして上部基体2の周縁端部2cと下部基体3の周縁端部3cの位置を合せ、上部基体2の各ボス2aを、それぞれ対応する下部基体3の穴3aに挿通してカシメる。このとき、上部基体2の周縁端部2cと下部基体3の周縁端部3cが合せられる結合部は連続する滑らかな曲線で連続するように構成され、結合後のハンガー基体1は全体外形が曲線状となる。上部基体2のボス2aのうち両端にあるボス2aは、対応する下部基体3の穴3aに続いて係止部材4の貫通穴4aにも挿通された後にカシメられ、係止部材4を下部基体3の両端下部に取り付け固定するのにも役立つ。続いて、滑り止め部材5がハンガー基体1の外周に

巻き付けられ、係止部材4と下部基体3の間の隙間7に挟み込まれて係止される。

【0010】上記構造によれば、ハンガー基体1の全体外形は曲線状となり、ハンガーに吊り下げられる衣服20にはしわを生じることがなく適正な状態で吊り下げ保持することができる。また、ハンガー基体1の両端部に巻き付けられた滑り止め部材5により衣服20が滑り落ちる虞れがなくなる。滑り止め部材5は、ハンガー基体1の一部に巻き付けるだけなのでわずかな量で済むため10コスト的に有利である。また、係止部材4はフック部4bを備えているのでこのフック部4bに他の衣料品等を掛けることができる。

【0011】

【発明の効果】本発明による衣料品用ハンガーによれば、ハンガーに吊り下げられる衣服等にはしわを生じることがなく長期的に適正な状態で吊り下げ保持することができると共に吊り下げられた衣服等が滑り落ちることがない。また、ハンガー基体は完全密閉型のため凹凸が少なく、リサイクル時の清掃が容易である。また、滑り20止め部材はハンガーの一部に巻き付ける量で済み、コスト的に有利であると共に交換も容易であり、リサイクルの作業のコストダウンを計ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の衣料品用ハンガーの全体正面図である。

【図2】(A)及び(B)は図1のA-A線及びB-B線断面図である。

【図3】図1の部分拡大分解斜視図である。

【図4】組み立て途中の状態を表わす部分断面図である。

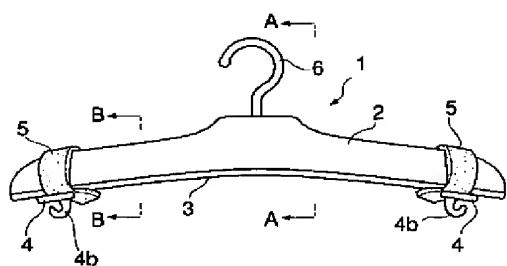
【図5】(A)は従来のハンガーの構造の部分拡大断面図、(B)は(A)のC-C線断面図である。

【図6】(A)は従来のハンガーの使用状態を示す側面図、(B)は横断面図、(C)は正面図である。

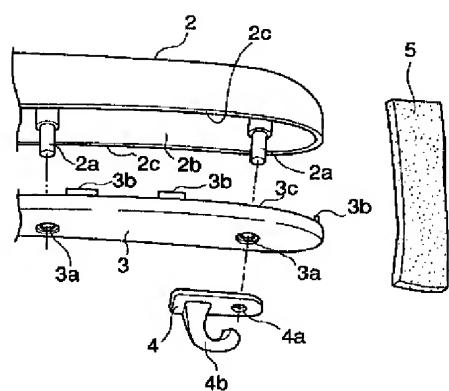
【符号の説明】

- 1 ハンガー基体
- 2 上部基体
- 3 下部基体
- 4 係止部材
- 5 滑り止め部材
- 6 フック

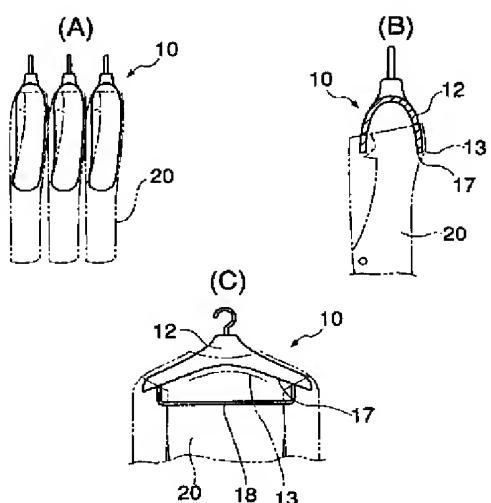
【図1】



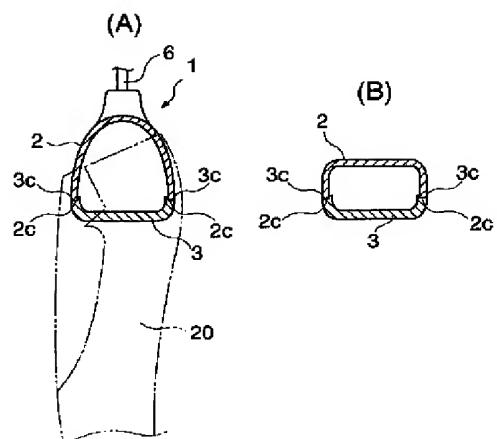
【図3】



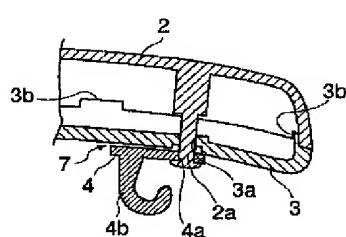
【図6】



【図2】



【図4】



【図5】

